

2021年5月31日

報道関係者 各位

株式会社フジタ
代表取締役社長 奥村洋治

2021年 設計作品技術発表会を開催

大和ハウスグループの株式会社フジタ（本社：東京都渋谷区、社長：奥村洋治）は、5月14日に2021年設計作品技術発表会を開催しました。本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、コロナ対策を万全に行った上で、主にウェブ会議システムを活用し、実施しました。

1. 概要

日 時：2021年5月14日（金）10:00～16:00

発表数：

- ・設計作品賞候補 14件
- ・設計技術賞審査結果発表・講評
- ・設計 VE 報告

出席者：435名
(本社および全国の支店・事業部)

2. 開催の趣旨

- ・設計作品技術発表会は、2020年度に竣工した優良設計作品の設計成果を発表し、設計部員の挑戦意欲の醸成、他部門との情報・ノウハウの共有により、顧客への有効な提案力の向上を目的としています。
- ・設計技術賞は以下の評価を行い、設計技術の向上に役立てることを目的としています。

総合部門：計画・構造・設備の総合力、技術性、経済性、環境配慮を評価

計画部門：企画・計画・監理手法についての技術性、経済性、環境配慮を評価

構造部門：構造計画・構法についての技術性、経済性、環境配慮を評価

設備部門：システム計画・環境技術等、設備計画の技術性、経済性、環境配慮を評価

3. 内容

冒頭、奥村社長からの訓話が読み上げられた後、設計作品賞候補として、物流施設、共同住宅、生産工場、複合施設、スポーツ施設等の作品が発表されました。その後、事前審査が行われた設計技術賞作品の概要紹介と、設計 VE 報告、設計作品賞の講評が行われました。

奥村社長 訓話要旨

コロナ禍で、ライブ配信による開催ですが、ウィズコロナの世の中では、こういった方法もどんどん日常化されつつあります。これからの中のプレゼンの一つのデモンストレーションとして、ぜひ、発表者のみなさんには、堂々と自信をもって、いい発表をお願いし、今後のお客様へのアピールにつなげていただきたいと思います。

フロントローディングを推進する上で、設計部門の役割は非常に大きくなっています。また、これからの中は生産性の向上、魅力ある提案のためにデジタル化は必須となります。設計部門でも、デジタル化の一環としてBIMに全力投球されています。ぜひ設計BIM100%を達成し、お客様へ魅力ある提案と生産性向上につなげてください。

また、今後大切なのは、コロナのもたらした変化、これにどう対応するか、ということです。「我々は変化が起こり続ける限り、我々自身も変わり続ける」という覚悟を決めなければいけません。変化の時代に、しっかりと対応し、これをチャンスに変えていく。そして成長を続けていく、そのような会社に我々はなっていかなければいけません。一致団結し、この変化の時代を走り抜けましょう。

最後に、みなさんの素晴らしい設計力で、当社の実績が高まり、業績向上につながることを信じております。

4. 表彰

設計作品賞 最優秀賞：横浜武道館（株式会社YOKOHAMA文体）

設計作品賞 優秀賞：Xフロンティア（SGリアルティ株式会社・株式会社IHI）
津田沼ザ・タワー（三菱地所レジデンス株式会社・三井不動産レジデンシャル株式会社・野村不動産株式会社）

設計作品賞 特別賞：参宮橋駅（小田急電鉄株式会社）

設計技術賞 最優秀賞：デザイン性の高い建物における構造架構の実現

※（）内は発注者



一部の発表者・審査員はコロナ対策を万全に行った本社会議室にて参加した

【お問い合わせ先】

株式会社フジタ

〒151-8570 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2

広報室

TEL 03-3402-1911